

新型コロナウイルス感染症対策事例について

沖縄県新型コロナウイルス対策本部総括情報部

事例: クラスター対策における派遣看護師の貢献

経緯

- 新型コロナウイルス感染症(以下、「コロナ」という。)については、県内において7月中旬頃から急速に感染が拡大したため、7月31日に沖縄県緊急事態宣言を発出し、繁華街の遊興施設に対する休業要請や県民に対する外出自粛要請等の措置を講じたが、その効果が生じる前に医療体制が逼迫した。

- 感染者の状況

	療養者数	病床占有率	新規感染者数 (直近1週間計)	直近1週間の人口10万人あたり新規感染者数
7月31日時点	244人	61.5%	223人	16.75人
8月14日時点	1089人	82.4%	620人	42.55人
9月5日時点	340人	74.6%	136人	9.47人

- 病床が逼迫し、軽症者用宿泊療養施設の追加開設に加え、8月2日からは、自宅療養も導入して対応せざるを得なくなった。
- 本県からの応援要請を受け、8月8日から厚生労働省やDMAT事務局が到着した。
- 療養施設や医療機関でクラスターが発生し、濃厚接触者となった職員が休業せざるを得ない状況となるなど、各施設における医療や介護の提供体制が急激に逼迫した。
- 複数の慢性期医療機関でクラスターが発生したが、重点医療機関の病床が逼迫していたため、コロナ患者の転院ができず、慢性期医療機関でこれらの患者を治療することを余儀なくされた。その結果、多くの看護師が必要となり、県内看護師だけではまかなえず、8月14日には全国知事会に、8月18日には自衛隊に対し看護師等の派遣要請を行った。

実績

- 県外から応援に来ていただいた実績

支援団体	派遣人数	活動期間
全国知事会	15道県から34名	8月19日～9月18日
厚生労働省地域支援班 DMAT事務局	11名	8月9日～9月8日
厚生労働省クラスター対策班	6名	8月5日～27日
自衛隊	17名	8月18日～31日
NPO法人ジャパンハート	6名	8月15日～31日

※計74名(うち看護師51名)

- 派遣先

下記の各機関における医療提供機能維持のため、看護業務に従事していただいた。

派遣先機関	派遣人員	支援機関(看護師チーム)	支援期間
A 慢性期病院☆	17名	派遣看護師、NPO 法人、自衛隊	8月15日～9月9日
B 慢性期病院☆	23名	派遣看護師、県看護協会、自衛隊	8月18日～9月18日
C 重点医療機関☆	9名	派遣看護師	8月20日～9月14日
D 重点医療機関	7名	派遣看護師、自衛隊	8月22日～9月9日
E 重点医療機関	4名	派遣看護師	8月26日～9月8日
F 重点医療機関	3名	派遣看護師	8月28日～9月9日

※「☆」はクラスターが発生した施設

クラスター対策の実務

厚労省地域支援班・DMAT事務局に県内DMATや医師会、県庁職員を加えて医療機関・福祉施設支援班を結成した。同班は、クラスターが発生した施設と県対策本部や各支援チームとの総合調整を担い、クラスター発生施設に必要な人員や物資等を把握し、同班からの情報により、厚生労働省クラスター対策班が感染制御指導やゾーニングを行い、看護師が不足している施設では、看護師チームが看護業務に従事した。

反省点

改善を要する事項

- マッチングに苦慮した経験を踏まえ、対外的に人員の派遣要請を行う場合には、派遣を求める人材の配置先についても事前周知を行う必要があると考える。
- 他県からの応援で派遣された看護師が、感染した事例があった。

成功した（良かった）事項

- 県対策本部、医療機関、福祉施設、保健所等との情報共有体制を確立することができた。
- 各県における取り組み事例について、情報交換することができた。

留意が必要な事項

- 支援活動終了後、派遣看護師を対象にPCR検査を実施した。
- 派遣元団体によっては、派遣看護師について、帰任後、一定期間ホテル等で待機し、PCR検査を実施して陰性確認後、職場復帰させる等の対応があった。活動期間は2週間でも、実質1ヶ月の休業となる。
- 派遣元団体や派遣看護師が帰任後に風評被害に遭わないよう、個人名や勤務病院名は非公表とすることが求められた。
- 派遣看護師の宿泊を断るホテルがあったため、県が借り上げたホテルを案内した。
- 支援活動中の感染など、不測の事態に備え傷害保険は必要だと思われる。

今後の対応

- 今後、同様に県内の医療が逼迫し、看護師等医療人材が不足する事態に備え、県内の医療人材を事前に登録し、感染拡大時に派遣する体制を構築していくこととした。継続して登録人材の拡充を図っているところである。

全国から応援に来ていただいた看護師の方々の活躍は、本県の医療提供体制の支えとなった。応援いただいた看護師、派遣にご協力いただいた都道府県や医療機関に心から感謝申し上げたい。